



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

事故に遭わず無事保護



反射材を着用して無事だったトイプードル＝牧之原署

牧之原市静波の大石信男さん(62)の飼い犬が先月、散歩中に迷子となり翌日に無事保護された。犬の体には反射材が着けられていた。妻すえ子さん(64)は「反射材がなかったら、車にはねられたかも」と振り返る。

すえ子さんによると、飼い犬、別の飼い犬2匹と一緒に犬のトイプードルは大石さん散歩に出かけた。リードを付とともに2月17日午後8時ごろ、けいていなかったトイプードル

反射材が飼い犬救った?

① トイプードルが着用していたのは何ですか

② それを着用していると、着用していない時と比べてどう違いますか。

牧之原の大石さん 2年前から装着

は迷子になってしまい、約3時間探したが、見つからなかったという。

翌日、市役所から「犬を保護している」と連絡があり、無事引き取った。けがはなかった。

散歩コースの大石さんの自宅近くは細い路地が多く、幹線道路も走っている。トイプードルの毛色は黒で、暗い道ではなかなか見えにくい。そんな中、無事助かったのは「反射材のおかげ」という。犬には「車にはねられないように」と反射材は約2年前から着けているという。

牧之原署の石川雅博交通課長は「夜暗い中で反射材を着ければ事故に遭わないことを証明している」と指摘。「反射材を着ければ安全。多くの人が着けてもらいたい」と話している。

2013年3月9日朝刊 中部版

③ 人間も夜暗い中では反射材を着けると事故にあいにくくなります。どこにつけたらいいか、どんな反射材があるか、調べて発表しましょう。

年 組 名前

(小学校高学年 保健体育、総合)